お茶めだ!?

てふ工生!!!

～お茶にしましょう～

差。

力強く爽快なシャトルで決めた！ バドミントン男子

六月一日から四日まで、三菱体育館で行われた男子バドミントンの試合。会場に入るとシャトルを打つ爽快な音と、大きな声援が響いていました。

試合は団体戦から行われ、徐々に勝ち上がっていく長工バドミントン部。しかし決勝戦では0対三で西陵高校に敗れ、惜しくも団体準優勝という結果に。それでも全力を出し切った選手の一人一人が私には輝いて見えました。

▲シャトルへの執念!!

個人ダブルスでは全ペア三回戦出場四回戦敗退、個人シングルスではE3堀江君がベスト16、E3貞方君がベスト8という結果になりました。試合後、貞方君は「決められる場面で決められなかった。

▶決めるぞスマッシュ！

九州大会で一つでも多く勝ち星を挙げたい」と新たな目標を。

試合を重ねるごとに動きも機敏になり、シャトルを打つ音からも力強さを感じました。北九州大会での男子バド部の活躍に期待しています。

華麗なる追い上げ 競泳

六月一日から二日間長崎市民総合プールで行われた競泳の試合。会場内は籠った湿気でただでさえ暑いというのに、四方からの熱い応援で気温が五度くらい上昇しているような気がしました。

まず一日目は二〇〇メートル自由形でP2宮崎君が一位と、一日目から好成績を獲得し、多数の選手が九州大会進出を決めました。そのまま波に乗って二日目。一〇〇メートルバタフライでD3末竹君が二位、二〇〇メートル個人メドレーでD3柿本君が三位に入賞し、長工の名前が絶えず電光掲示板に載っていました。そして最後の種目、八〇〇メートルリレーで長工は序盤五位。しかし、中盤からの追い上げがすさまじく、一位になったときは思わず声に出して喜んでしまいました。

最終的に長工は総合二位。得点は九十九点で、一位とは三点差でした。

試合後キャプテンのD3末竹聖人君は「総合優勝できず悔しい。インターハイで頑張りたい」と語っていました。優勝こそできませんでしたが、各レースの白熱した闘いはどれも素晴らしいものでした。次の九州大会に期待がかかります。

目指せ国体！ 男子ヨット部員の素顔に迫る

◀ヨット大好き 平野君

期待の新星 深浦君▶

今回、団体で三位を獲得したヨット部男子。男子部員の二人は今、国体に向けての練習を行っています。

そんなヨット部男子のC2平野匠君とD1深浦宗一郎君にインタビューをしました。

小学校からヨットを始めたという二人。きっかけは「夏休みにしたヨット体験」（平野）「親に誘われて」（深浦）とのこと。

これまでヨットを続けてきている理由を聞くと、二人とも「好きだし、楽しいから」と答えてくれました。また、国体に出場するに当たっての目標は「狙うは優勝」（平野）「苦手なスタートを克服する」（深浦）と二人ともに気合い十分。まず国体の予選。ぜひ頑張ってほしいと思います。

ちなみに二人の好きな食べ物は「焼きとり」（平野）と「とんこつラーメン」（深浦）だそうです。

★バドミントン男子団体 ★競泳総合 ☆ソフトテニス男子団体 ☆ハンドボール ★ボクシング 準優勝ベスト4 個人優勝・準優勝

溢れるスピード感 ボクシング

▲前に前に前に！

◀俺のパンチを受けてみろ！

試合は六月一日から三日まで雲仙小浜体育館で行われました。会場に入ると選手は練習を始めていて、既に試合モード。観客席はほとんど埋まっていて、立っている人も。ピン級の米倉快人君は試合前「優勝する」と自信と気合たっぷりに話してくれました。

ボクシングの試合は応援も見所。同じチームの仲間が一か所に集まって応援歌を歌ったり、タイマーで残り時間を教えたりしていて、勝ってほしいという気持ちがとても伝わってきました。それに答えるように繰り出される拳。結果は米倉君が宣言通り、見事優勝しました。ライトフライ級のE1橋口壱成君も、準優勝。二人とも九州大会に出場するので、優勝して

▼素早いパス回し！

魂と魂のぶつかり合い ハンドボール

六月一日から三日にかけて島原復興アリーナで行われたハンドボール競技。今年は野球部も応援に駆けつけました。一、二回戦は力強い攻めで圧勝。試合後キャプテンのJ3原昂大君は「勝てて一安心。次戦は瓊浦に勝って、決勝進出します」と意気込んでいました。しかし準決勝でライバル瓊浦に惜しくも敗北。結果はベスト4となり、大渡先生が顧問になって初の快挙。ベスト4になった感想を聞いてみると「ただの通過点でしかない」とキャプテン。「よく頑張りました」と大渡先生がコメントをくれました。

最後にハンドボール部の部員は「高総体で第二グラウンドの絆を得た」と声を揃えて話してくれました。今後のさらなる成長に期待です。

昨年一回戦敗退→ベスト4 ハンドボール

▶トムヤムクン大好き 大渡先生

高総体で好成績を収めたハンドボール部。勝利の裏側に迫るべく、キャプテンのJ3原昂大君、顧問の大渡先生にお話を聞いてみました。

―大渡先生を信じて、練習を頑張ったから勝てた。後輩にはもっと上を目指してほしい。闇の先には光が差している！（原君）

―生徒の血の滲むような努力があっての勝利。更に上を目指し頑張ろう。（大渡先生）

一つひとつの言葉の裏から努力の跡が伺えるようなコメント。また、新キャプテンのP2薬師寺克則君は「みんな仲が良くて、メリハリのある部活を目指していきたい」と明るい笑顔で話してくれました。

躍進がんばりました！

昨年八位→準優勝 男子バドミントン

今回大健闘した男子バドミントン部。キャプテンのE3堀江匠君にその強さの秘密を聞きました。

―試合ではいつでも冷静に、熱くなりすぎないように心掛けている。シングルスは体力勝負。だから今は特に基礎体力作りに力をいれている。

バド部は部活以外でも込み等、それぞれが自主練習に励んでいそう。

自主的に頑張ることが、勝利の秘訣なのです。そんな堀江君の力の源はアイドル（48グループ）だそうです。

▲Nice Smile☆

あと一歩の踏ん張り ソフトテニス男子

六月一日から四日にかけて、島原市営コートと百花台公園庭球場で行われたテニス競技。一日目は雨の影響で延期となり、二日目から団体戦の試合が行われました。団体一回戦は猶興館高校にストレート勝ち。その後順調に勝ち進みましたが、準決勝で長崎北高校と対戦し最後まで粘るも二対〇で負けてしまいました。

キャプテンD3川本秀作君は、「失敗を恐れずもっと攻めていけばよかった」と悔しさを滲ませるとともに「九州大会で優勝して欲しい」と後輩へ向けたメッセージも話してくれました。

◀狙いを定めて

▶歓喜の雄叫び！

エース&北九州大会出場選手にインタビュー！

今回の大会で、松下・平川ペアと白濱・林田ペアが北九州大会へ。IH出場。田崎・清水ペアが北九州大会出場への切符を手にしました。そんな六人に早速インタビュー！

Q今の気持ちを。

（松・平）正直嬉しい（松・田・清）「あと一点で負けて悔しい」（白・林）

Q試合で感じたことは。

「コンビネーションとメンタルの大切さ」（全員）

Q次への目標。

「来年の高総体で団体・個人とも優勝」（平・林・田・清）「九州大会でベスト4に入る」（松）「IHで自分のできるベストを尽くし、良い結果を出す」（白）

それぞれ自分に足りない所を見つけ、次の大会を待ちわびる様子でした。

続きは三面へ…